

平成28年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	31	学校名	静岡県立清水東高等学校(全)	校長名	鈴木 照彦
------	----	-----	----------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	授業改善を進める（学ぶ意欲が高まり、第1志望の大学に合格する学力が身につく授業を行う）	「授業が分かる」「指導のレベルに満足」（共に80%以上）	「授業内容を理解できる」78.1%、「あまり理解できない」21.8%であった。	B	アクティブラーニング的な授業への取組を教員に呼び掛け、研修も実施した。理解力に差がある集団での授業の工夫が一層求められる。
	授業、部活動、家庭学習のリズムを習得させる	週5日以上家庭学習に取り組む生徒95%以上	「ほぼ毎日取り組んでいる」81.5%、「取組にバラツキがある」18.5%であった。	B	学年単位で生活状況調査を実施し、望ましい生活習慣について生徒への声掛けを継続した。部活動顧問と学級担任の情報交換の場をさらに多く持ちたい。
	個人面談の実施	年3回以上	確実に実施できた。	A	来年度も3回実施したい。
	SSH事業を推進する	普通科課題研究の指導体制の充実。関連の全国大会出場	第3期最終年度である。普通科では、科学的素養→課題研究→情報発信という形が整った	A	第3期で開発した内容を継続する形で第4期申請を文科省に提出できた。 物理班の高文祭優秀賞をはじめ、全国レベルの活躍がみられた。
	読書の質と量を高める	貸出数の向上	貸出し方法やPRの工夫により昨年度よりも伸びた。	B	今年度はクラス貸出しを実施し、貸出数を増やしたが、今後は個人の貸出数を伸ばしたい。
	国際性を育てる	海外研究旅行、英語授業の改善、国際交流推進、課題研究の英語表現等の計画の確実な実施	3年SSHで英文HPの作成、英語での発表ができた。 2年研究旅行において、課題研究発表や日本文化紹介を英語で行った。	A	第3期の3年目から始まったが、徐々に英語での発表が増えた。本年度は全班が英語発表した。 英語での発表に向けてLHRや授業で行った準備や、現地高校生と意見交換に積極的に取り組むことができた。
	教育課程（週時程含む）の研究をする	教育課程の課題の段階的な改善	次年度からコミュニケーション英語IIIを導入する	B	新大学入試制度の情報を収集し、対応の準備をしたい。
	学校行事の生徒による自主的運営	文化祭の満足度80%以上	実行委員会を中心に企画・運営を行うことができた。	A	昨年までの反省を生かし、各展示に工夫が見られ、質も向上した。来年度は、校舎改修に伴い、限られた場所で実施しなくてはならないため、より一層の工夫が必要である。

様式第3号

イ	清高琢徳プロジェクトの推進	計画の確実な実施	モーニングセミナーは計画的に行われた。	B	仮校舎への移転に伴い、計画的な名言掲示等ができなかった。
	1部活1ボランティア	全ての部活で実施	年間を通し、計画的に実施できている。	A	各部活独自の活動だけでなく、福祉委員会が中心になり、静岡市福祉協議会と連携を取り実施することができている。
	ピア・サポートの普及	年27回研修	年間計画に基づいて考え方やノウハウを伝えられた。	A	保健委員以外の生徒の参加を呼びかけ一部生徒の参加も実現したが継続には至らなかった。一層の普及の機会を作って行きたい。
	清掃監督・指導	確実な実施	古い校舎ながら清掃監督、生徒ともに確実にやっている。	A	仮校舎に合った清掃方法と用具を整備してゆく。
	保護者・警察の協力を得ての交通安全指導	年2回	1学期、2学期に1回ずつ実施した。	A	1学期は本部役員、2学期は地区役員に協力をいただき、実施することができた。
	いじめ防止対策基本方針に基づく取組	年間計画及びいじめへの対処の確実な実施	年2回のアンケート実施クラス面接での早期発見に努めた。	A	アンケート等で気になる生徒については、詳しく面談を行い、対処することができた。
	スマートフォン等の使い方の指導の充実	生徒会やPTAでの取組	1・2年に対するスマホ講座や、全生徒に対する現状把握のためのアンケートを実施した。	A	アンケートを元に、現状分析したものをPTAとの懇談会資料として、話し合いを行った。ネットパトロールで指導を受ける生徒が若干名いるため指導を継続する。
ウ	基礎体力を向上させる	新体力テスト10位以内	男女共最優秀校	A	体育の授業で計画的にトレーニングを行い、その成果が現れた。
	充実した部活動を継続し、たくましい心身を育成する	全国大会5部活、県大会10部活以上	運動部だけでなく、文化部の活躍も目立った。	B	運動部の全国大会への出場が減少したのは残念である。一方、文化部の活動がコンスタントに良い成績を収めている。
エ	高い志を育み、第1志望の大学合格率を向上させる	進路行事の内容を充実させ、確実に実施	各学年で充実した進路行事が実践でき、成績も向上している。 教員の計画的な進学指導と意欲ある生徒の努力で目標を達成できた。	A	情報の充実と他からの多くの刺激を受けて意欲的に進路を考える生徒が育成できている。 達成が難しいと思われた学年だったが、3年次の熱意ある指導で学力が向上したことは今後の参考となる。
		国公立大学の合格者50%以上			
オ	災害時の備えを充実させる	一斉メール加入促進	1年生は、286人中260人が速やかに登録し、2、3年生もほぼ登録している。	A	登録していない家庭には担任が連絡している。緊急時には迅速、正確な情報を流す。

様式第3号

	校舎改修工事の実施に伴う諸問題の対応に最善を尽くす	教育活動の実態に即した改修工事の実現。調整を確実に実施。	必要に応じて WG を開催し、その情報を職員へ提供した。	A	長寿命化改修工事の実施に伴う諸問題について、管理職・WGにおいて検討し、職員間で情報共有し、学校全体で取り組むことができた。
	施設の危険・破損箇所の改修を迅速に行う	月1回の点検を確実に実施	修繕要望への迅速な対応と月1回の点検を実施した。	A	点検を実施し、危険・破損箇所の修繕等を迅速に対応した。職員間の情報共有を密にし、危険箇所が放置されないようにする。
	悩んでいる生徒を組織的に支援する	欠席等が多い生徒の情報の共有と対処を毎月実施	担任会や学年主任会を定期的実施、情報は学年部全体で共有した。	A	保健部や部活顧問の協力により、早めの対応ができた。
カ	HPのタイムリーな更新、清高メールの発信	週1回程度	ほぼ実施できた。	A	今後もタイムリーで良質な情報発信を行いたい。
	公開授業や1日体験入学の充実	昨年度並みの参加者	公開授業は昨年以上の参加者があった。	A	来年度はプレハブ校舎に適した方法を検討する必要がある。
	理科の不思議実験講座	年3回	多くの中学生が参加し、大変好評だった。3回目は3月に実施する。	A	指導する側の高校生にとっても、本校SSHの研究課題「伝える力の育成」に繋がっている。
	広報誌の作成・配布	年2回	予定通り実施できた。	A	来年度もさらに紙面を充実させ年2回作成・配布したい。
	中学校訪問	年2回	予定通り実施できた。	A	来年度も2回実施、効果的な訪問となるよう工夫したい。
	学校行事や生徒会活動で地域貢献をする	計画の確実な実施	部活動・生徒会を中心に予定通り実施できた。	A	来年度もさらに貢献できるよう、工夫をこらして実施したい。
	外部の方の意見を学校経営に生かす	各委員会の計画的な実施	学校評議員会の意見を取り入れた教育活動を行った。	A	今後もさまざまな視点で意見をいただき、学校改善に取り組んでいきたい。
キ	教職員が資質の向上に努める	信頼できる先生がいる(80%以上) 校内研修年3回	大半の生徒が、信頼できる先生がいると答えている。 予定通り実施できた	B A	社会とともに変化する生徒に寄り添い、適切な指導・助言ができる信頼感ある教員として資質・能力を高めていく。 研修の機会を増やし、さらに充実した内容にしたい。
	教職員が危機管理意識、コンプライアンス意識を高める	毎月1回研修実施。不祥事0件	予定通り月1回実施し、朝の打合せでも随時呼びかけ、意識を高められた。	A	事例に対する重い処分を示し、より意識を高めたい。
	時間外勤務を縮減する	時間外勤務を前年度より少なくする	大きな超過は部活動指導時間であり、平年並み。時間内の業務を充実させて時間外勤務を減らした。	A	講座等の時間外勤務は、PTA活動として手当支給により対応し、振替・割振の対象となるものは適切に処理して不満のない勤務体系を維持する。

様式第3号

ク	教育目標に沿った学校経営、予算編成・執行を行う	毎週管理職の打合せを実施	管理職打合せを毎週実施した。	A	経営計画の執行状況のチェック、新たな課題に対する対応の検討を行った。
	法令に基づいて正確かつ迅速に事務を遂行する	監査・検査における指示・注意0件	複数名による法令に基づいたチェックを徹底した。	B	監査の指導事項が2件。例月の会計事務検査においても注意事項が2件あり、今後も複数名による法令に基づいたチェック体制を徹底する。